

## 精神障害者の遠隔地からの退院支援（支援の流れ）

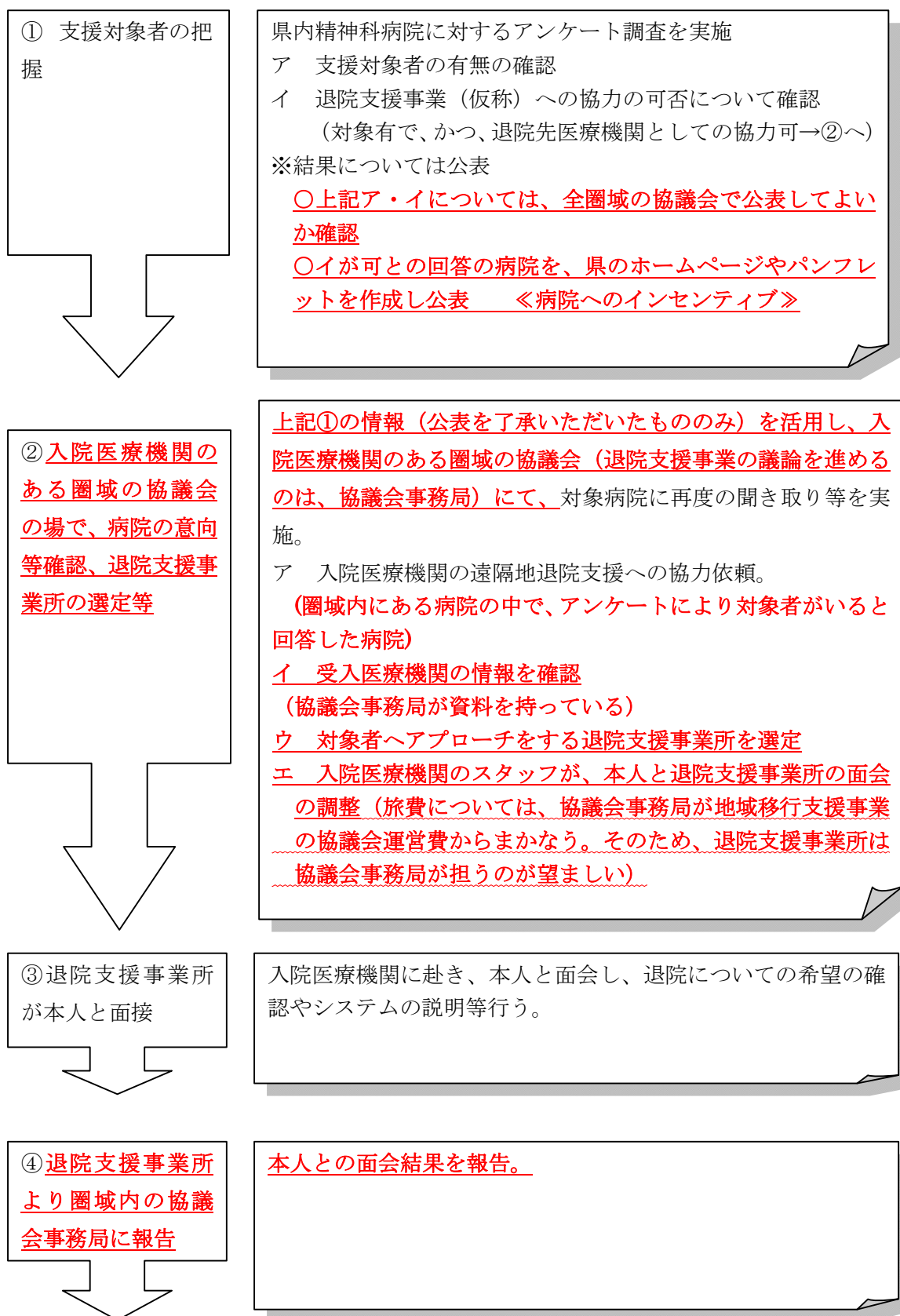
## 1 目 的

精神障害のある人で、さまざまな事情により、生活していた場所から離れた場所で入院を余儀なくされる人のうち、以前生活していた地域への退院を希望する人への支援のために、遠隔地に入院されている精神障害者の退院支援について、役割や流れについて整理する。

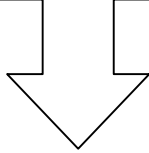
## 2 用語等の整理

- ① 遠隔地：障害保健福祉圏域外をさす
- ② 支援対象者：長期に入院していることから支援の必要性が相対的に高いと見込まれる1年以上の入院者を中心（厚生労働省が示す地域移行支援の対象者の定義）とし、退院先が障害保健福祉圏域外であるもの。
- ③ 協議会：地域移行支援事業の地域移行支援協議会を指す。障害福祉圏域ごとに地域移行支援事業を委託された事業所が、圏域内の病院の看護師、精神保健福祉士や障害福祉サービス事業者、障害保健福祉行政担当者、家族、当事者等を集め、情報交換や困難事例解決に向けた検討、普及啓発活動の企画等を行う。
- ④ 協議会事務局：地域移行事業を受託している事業所。
- ⑤ 入院医療機関：現在対象者が入院している医療機関
- ⑥ 受入医療機関：支援対象者が生活を行う予定地域の転院又は通院先医療機関
- ⑦ 退院支援事業所：現在、支援対象者が入院している地域を支援している事業所
- ⑧ 受入支援事業所：支援対象者が生活を行う予定地域を支援している事業所
- ⑨ 地域移行支援サービス：指定一般相談支援事業所が実施するサービス。精神科病院に入院している精神障害のある人について、住居の確保そのほかの地域における生活に移行するための活動に関する相談等を行う。
- ⑩ 地域定着支援サービス：指定一般相談支援事業所が実施するサービス。居宅において単身等の状況で生活する障害のある人について、当該障害者との常時の連絡体制を確保し、障害特性に起因して生じた緊急の事態などに相談等の便宜を供与すること。

### 3 退院支援事業（仮称）の流れ



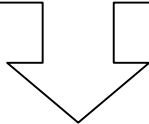
⑤ 入院医療機関のある圏域の協議会事務局から、受入医療機関のある圏域の協議会事務局に連絡



入院医療機関のある圏域の協議会事務局から、受入医療機関のある圏域の協議会事務局に情報を提供し、協議会での調整を依頼

- ア 入院医療機関と退院支援事業所について情報提供
- イ 受入医療機関の有無の確認
- ウ 協議会での受入医療機関と受入支援事業所への調整を依頼

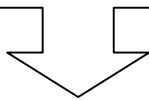
⑥ 受入医療機関のある圏域の協議会の場で、病院の意向等確認、退院支援事業所の選定等



上記①の情報（公表を了承いただいたもののみ）を活用し、受入院医療機関のある圏域の協議会（退院支援事業の議論を進めるのは、協議会事務局）にて、対象病院に再度の聞き取り等を実施。

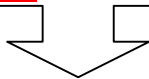
- ア 受入医療機関の遠隔地退院支援への協力依頼
- ウ 対象者へアプローチをする受入支援事業所を選定

⑦ 支援会議の開催



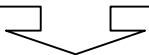
原則として、両協議会が事務局となり、退院支援事業所と受入支援事業所、入院医療機関、受入医療機関の6者の多職種（必要により当事者や家族）が参画し、実施に向けた具体的な退院・地域生活支援計画の策定を行う。

⑧ 地域移行支援サービス（個別給付）の申請



本人が、地域移行支援サービスの申請を行う。  
支援事業所は、受入支援事業所と想定するが、本人の申請のため、変更になることも考えられる。

⑨ 支給決定



市町村よりサービスの支給決定がされる

⑩支援開始(入院元)

退院支援事業所において、入院医療機関の協力を得ながら地域移行支援サービスを実施

※そのまま退院になる場合もある

⑪支援開始(転院)

入院医療機関から受入医療機関へ転院

⑫受入医療機関にて、受入支援事業所が本人と面接

転院先である受入医療機関に、受入支援事業所が赴き本人と面接

⑬地域移行支援サービス（個別給付）の事業者の変更申請

本人が、地域移行支援サービス事業者の変更の申請を行う。支援事業所は、受入支援事業所と想定するが、本人の申請のため、変更になることも考えられる。

⑭支給決定

市町村よりサービスの支給決定がされる

⑮支援開始(体験)

受入支援事業所において、受入医療機関の協力を得ながら、体験宿泊や日中活動の場への体験参加などの地域移行支援サービスを実施

⑯退院

退院後は、受入支援事業所において、地域定着支援サービスを実施

